



報道関係者各位

2016年9月1日

**11月18日(金)・19日(土)、有楽町・東京国際フォーラムで開催される  
第1回「オーガニックライフスタイル EXPO」でOrganic 3.0を体感!**

世界の有機農業運動を牽引するIFOAM(国際有機農業運動連盟)は、今年2月のオーガニック見本市BIOFACH(ドイツ・ニュルンベルク)で、今後、オーガニックは第3段階(オーガニック3.0)にシフトすると宣言しました。オーガニック1.0とは有機の先駆者たちが19世紀終わりから20世紀初めにかけて始めた運動を意味し、続く1970年代に始まる基準の規格化とその普及運動オーガニック2.0により、今日、年間720億ドルを上回る市場が確立されました。そしてこれからは、認証を超え、持続可能性を志向するすべての人々と共にオーガニックの新境地を目指すオーガニック3.0となります。2016年11月18日(金)・19日(土)、有楽町の東京国際フォーラムで開催される「オーガニックライフスタイル EXPO」は、世界で初めて、このオーガニック3.0を具現化する展示会です。

■ 「オーガニック」をキーワードに心と体に心地よいライフスタイルを提案

業界関係者に消費者も巻き込む新機軸のBtoBtoCの展示会「オーガニックライフスタイル EXPO」は、「衣・食・住」の生活全体を対象にした展示会です。ですから、飲食料分野から、エシカル・オーガニックコスメ、繊維製品から生活雑貨まで、幅広い分野からの選りすぐった商品や情報によって、心と体に心地よいライフスタイルを紹介します。

展示品は「オーガニックライフスタイル EXPO」ならではのユニークな出展カテゴリー表示で分類。味(ajiwau)から、育(hagukumu)、纏(matou)、磨(migaku)、癒(iyasu)、暮(kurasu)、守(mamoru)、活(ikasu)まで多岐に渡り、目標の120小間がほぼ埋まりました。地上スペースには、新規就農者をはじめとする生産者のためのマルシェテント50台超が立ち並びます。

■ 展示品や情報の内容を担保する公正な出展基準

「オーガニックライフスタイル EXPO」はアクセスの良い東京国際フォーラムを会場としていることから、業界関係者だけでなく、オーガニック市場拡大の鍵を握る一般消費者に広く波及することを目指しています。会場販売もいたしますので、展示内容に対する信頼を担保すべく、展示品に対して公明正大な出展基準を設定しました。



そのため、有機JAS認証はもとより、化粧品や繊維製品に関する認証から、たとえば、FSC（森林管理協議会）、MSC（海洋管理協議会）、フェアトレードやレインフォレストなどの各種認証、さらには第一者認証から第二者認証、第三者認証までも精査し、各分野専門家の協力の下、世界的潮流になるオーガニック3.0の考え方にに基づき、**オーガニックライフスタイル EXPO独自の出展基準**を作成して、出展品の内容をそれぞれ確認し、展示することになります。

会場では、上記に挙げたような認証機関の情報ブースが設置されたり、市場で流通している認証マークについてのセミナーが催行されたりしますので、業界関係者にとっても、消費者にとっても、認証について広く勉強できる貴重な場となります。

#### ■ 在来種とアニマルウェルフェアにフォーカスした主催者テーマゾーン

らでっしゅぼーややローソン／ナチュラルローソンが後援する主催者企画のテーマゾーンには、有機農業の要である「種」と、これからの畜産である「**アニマルウェルフェア（動物福祉）**」を焦点に、関連企業や情報が全国から集まります。

ぜひ体験して欲しいのは、これまで身近に触れることの少なかった在来種や固定種、アニマルウェルフェアに関する展示ゾーンで知識を仕入れた後、キッチンスタジオでそれを味わう関連イベントへという流れ。また、会場で販売されるお弁当の食材の中には、このテーマのコンセプトにより生産されたものも使用されています。

#### ■オーガニック 3.0 から海外の有機市場動向、ショーッキング（試飲試食）、ファッションショー、チェア・ヨガなどなど、盛りだくさんのセミナー&ステージプログラム

「オーガニックライフスタイル EXPO」のセミナー&ステージプログラムは、**基調講演とも**いうべき「**オーガニック 3.0**」でスタートします。18日はおもにビジネス関連、19日は一般消費者も対象とするものが数多く含まれています。

ライフ、ナチュラルローソン、イオン等を迎えてのパネルディスカッション「**オーガニック小売業最先端の動き**」、日本のコスメ認証機関による「**コスメ認証の未来**」、本年度の農林水産省事業では「**オリ・パラ食料調達基準について**」、「**ローカル&オーガニックの特色ある売り場作り**」、「**オーガニック 知っておくべき認証システムと表示の基礎**」など、即、活用可能な内容のイベントが目白押し。\*タイトルはいずれも仮題です。



会場では、ぼくたちわたしたちの大好きな地球や食べ物をテーマにした「キッズアワード～ぼくのわたしの食べ物の絵コンテスト～」も同時開催されます。

なお、IFOAMが発行し、アイフォーム・ジャパンが翻訳監修した冊子「オーガニック 3.0～真に持続可能な農業と消費の在り方を求めて」は会場でも販売されます（定価：700円）。

また、次回、第2回「オーガニックラフスタイル EXPO」は、2017年7月26日（土）・27日（日）に2ホールに拡大して開催。出展社募集もスタートします。

#### 【展示会概要】

名称：第1回 Organic Forum Japan～オーガニックラフスタイル EXPO

会期：2016年11月18日（金）、19日（土） 時間 10：00～17：00

会場：東京国際フォーラム展示ホール1・地上スペース

主催：一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン

展示規模：展示ホール1（屋内）約120小間、屋外・生産者マルシェ約50小間

来場者数：30,000人（見込み）

入場料：1,000円（事前登録者・招待状持参者は無料）

後援：農林水産省

企業協賛：ローソン/ナチュラルローソン、らでいっしゅぼーや/RADIXの会、SHARE

THE LOVE for JAPAN、アバンティ、大地を守る会、安心農業、イ-サポートリンク（敬称略）

協賛：（敬称略）

協賛：特定非営利活動法人アイフォーム・ジャパン、NPO法人オーガニック協会、NPO法人オーガニック事業協会、一般社団法人エシカル協会、一般社団法人エシカルビューティ協会、NPO法人FTSN、農事組合法人さんぶ野菜ネットワーク、一般社団法人SEEDS OF LIFE、一般社団法人Stand for Mothers、特定非営利活動法人全国有機農業推進協議会、日本オーガニックコスメ協会、NPO法人日本オーガニックコットン協会（JOCA）、特定非営利活動法人日本オーガニックコットン流通機構、NPO法人日本有機農業研究会、NPO法人有機農業参入促進協議会、株式会社アファス認証センター、オーガニック・テキスタイル世界基準（GOTS）、株式会社Control Union Japan、特定非営利活動法人日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会（JONA）、有限会社リーファース

協力：オーガニック生活便（株）アイシス、ORGANIC PRESS、ORGANIC VISION（一般社団法人オーガニックヴィレッジジャパン（OVJ））、月刊クーヨン（株）クレヨン



ハウス)、GON(グローバルオーガニックネットワーク)、grassroots(CREAM INC)、Japan Today/Savvy Tokyo(株ジープラスメディア)、自然と農業(木香書房)、ダイヤモンド・チェーンストア(株ダイヤモンド・リテイルメディア)、ベジタリアンマガジンVeggy(キラジェンヌ株)、野菜だより(株学研プラス)

同時開催：生産者マルシェ、第1回キッズアワード「ぼくとわたしの食べ物の絵コンテスト」、シンポジウム・各種セミナーワークショップほか

公式 URL：<http://ofj.or.jp>

#### 【主催者概要】

組織名：一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン

代表者：会長 徳江 倫明 代表理事 秋元 一宏

所在地：東京都中央区八丁堀2丁目22番8号7F(一社)FTP内

TEL：03-3523-0028 FAX：03-3523-0861

E-Mail：info@ofj.or.jp

#### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

オーガニックフォーラムジャパン事務局

担当：中村 実代

TEL：03-3523-0028 FAX：03-3523-0861

Email：nakamura@ofj.or.jp